



【供給量の増加】

・タスクフォース開催後、石油元売会社や商社等の取組により、行動計画とりまとめ時に予定していた週150便超を超える、週200便以上の燃料供給のメドがたった。

【就航・増便の状況】

・本年7月の行動計画公表以降、その時点において就航・増便に至っていなかった事例や、7月に設置した相談窓口経由などで問合せがあったものなどのうち、合計週124便について、関係者による調整の結果、燃料供給が可能となり就航・増便のメドがついた。

・また、本年7月の行動計画公表時点において、就航・増便に至っていなかった事例週140便については、週16便にまで減少したところである。

・その後、インバウンド需要の急激な増加により、更なる就航・増便の要請があったことから、現時点で、就航・増便に至っていない事例が合計週63便となっており、航空燃料の安定的な供給に向けて、引き続き、関係者と取り組んでいく。

【参考】 運航便数の推移（便/週）

2023冬ダイヤ	2024夏ダイヤ	2024年7月1週目	2024冬ダイヤ
4311.5	4874.5	5078	約5300強（※）

（※）9月17日時点の国際旅客定期便事業計画申請ベース